

### ※カーボンニュートラルの実現に向けて

**問** 国は2050年のカーボンニュートラル達成に向けてエネルギー基本計画見直しを検討しているが、本市の取り組みは。

### 豪雨時の浸水対策は

**問** 手城川流域の雨水ポンプ場完成予定が2025年度に延期となった。それまでの対策は。

### 鞆のまちづくりは

**問** 鞆の文化振興と町並み保存の取り組みは。

**答** 鞆まちなみ保存会が発足し

### 義務教育9年間の学びは

**問** 小中一貫教育や義務教育学校の創設に取り組んでいるが教育の在り方をどう考えるか。

**答** 県教育委員会は、義務教育9年間を通し、子どもたちが自分で考え、選択、決定し、言葉や文章で表現することを積み重ねた結

**答** 第二次環境基本計画に基づき、市民、事業者、行政が一体となって温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいる。また、地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を策定し、公共施設の設備の効率化や低炭素な電力の調達などを行っていくことにしている。

**答** 雨水幹線は2023年度に完成予定で、最大口径3000ミリメートルの雨水管を暫定的に貯留施設として活用することを検討している。東深津町に整備した雨水貯留施設の活用も検討する。

**答** 住民主体のまちづくりを推進する体制が整いつつある。（仮称）鞆町町並み保存拠点施設についても住民と行政が一体となって文化振興と町並み保存を推進する拠点施設となるよう取り組んでいる。

果として15歳の時に身に付いている力を、自己を認識する力、自分の人生を選択する力、表現する力として示した。2023年度からの公立高校の入学者選抜では、個人面談形式で「自己表現」を実施し、この力を見る。

改めて、義務教育を通して着実に「子ども主体の学び」づくりに取り組む必要があると考えている。

### 誠友会



おかざき まさゆき 岡崎 正淳

### 第8期介護保険事業計画は

**問** ①計画案では、施設・居

### ※地域包括ケアシステムの実現は

**問** 事業者間の新たな連携に向けた取り組みは。

### 農林水産振興の組織体制と新たな振興ビジョン策定は

**問** ①2021年度、新たに農林水産振興担当部長を置き、組織を再編する理由は。

②農業、林業、水産業のめざす将来像と目標を施策につなげる新たな農林水産振興ビジョンを策定する。これまで、それぞれ示していたビジョンを統合する背景は。

**答** ①昨年の地域活性化会議で有害鳥獣被害や休耕地の増加は、

住系サービスの施設を377人分整備するとしている。整備に伴い必要となる介護従事者数は、

**答** ①既存施設の定員増を対象とし、110人程度を見込む。

②福山市福祉・介護人材確保等総合支援協議会で就職面談会やセミナーの開催などに取り組んでいる。

**答** 社会福祉法人等が自主的に連携、協働できる社会福祉連携推進法人制度の施行に合わせ、良質な介護サービスの提供を通じ地域包括ケアシステムの実現をめざす。

農林水産業に限った課題ではなく市民生活や地域の活力維持に関する課題であることを確認した。農林水産部門としても地域の活力維持をリードしていけるよう、組織を再編、強化する。

②本市は、現行のビジョンに基づき、地産地消の推進、農水産物のブランド化、森林の保全などに取り組んできた。今後は分野連携の下で農山漁村地域の活性化などをめざすため、これまでの分野別ビジョンを取りまとめた新たなビジョンを策定する。

※カーボンニュートラル：二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量や除去量を差し引いてゼロにすること

※地域包括ケアシステム：高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい、生活支援サービスが一体的に提供される仕組み